

参考資料

平成28年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
教 育 局

新規事業及び重要事業総括表

I 総額

【一般会計】

区分	平成28年度	平成27年度	伸び率
予算総額	481,019,621千円	483,566,557千円	△0.5%
一般会計構成比	25.6%	26.4%	—

【埼玉県高等学校等奨学金事業特別会計】

予算総額	566,065千円	519,866千円	8.9%
------	-----------	-----------	------

II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

1 確かな学力と自立する力の育成

(1) 一人一人を確実に伸ばす教育の推進

P 1	学力・学習状況調査実施事業【義務教育指導課】	215,562
-----	------------------------	---------

(2) 確かな学力の育成

P 2	新規 近未来学校教育創造プロジェクト【高校教育指導課】	35,718
P 3	未来を拓く「学び」プロジェクト【高校教育指導課】	5,860
P 4	骨太のリーダーを育成する高校生のための埼玉版リベラルアーツ事業 【高校教育指導課】	2,628
	生徒の心に火をつけろ！高校生キャリアアップ&学力アップ 推進プロジェクト【高校教育指導課】	2,060
P 5	一部新規 課題を抱える生徒の自立を支援する共助プラン 【高校教育指導課・生徒指導課】	72,715
P 6	新規 埼玉県学力・学習状況調査のデータ活用事業 【義務教育指導課】	9,500
P 1	学力・学習状況調査実施事業【義務教育指導課】	215,562 (再掲)
P 7	一人一人に目を向けたアドバンスド事業【義務教育指導課】	3,200

(3) 伝統と文化を尊重しグローバル化に対応する教育の推進

P 8	新規 国際バカロレアに関する調査・研究事業【高校教育指導課】	1,374
	県立高校グローバルリーダー育成塾【高校教育指導課】	31,732
	県立高校グローバル教育総合推進事業【高校教育指導課】	400,559
	スーパーグローバルハイスクール事業【高校教育指導課】	39,891
	「伝統・文化に関する優れた授業」配信事業 【義務教育指導課】	3,530

(4) 時代の変化に対応する教育の推進

P 2	新規 近未来学校教育創造プロジェクト【高校教育指導課】	35,718 (再掲)
P 3	未来を拓く「学び」プロジェクト【高校教育指導課】	5,860 (再掲)
P 9	県立高校プロフェッショナル育成推進事業【高校教育指導課】	46,417
	「教育の情報化」基盤整備費【高校教育指導課】	990,358

(5) キャリア教育・職業教育の推進

P10	新規	明日の産業を担う専門高校人材育成事業【高校教育指導課】	2,000
		定時制高校生のためのチャレンジ雇用推進事業	
		【高校教育指導課】	1,537
P9		県立高校プロフェッショナル育成推進事業【高校教育指導課】	46,417 (再掲)
		生徒の心に火をつける！高校生キャリアアップ&学力アップ	
		推進プロジェクト【高校教育指導課】	2,060 (再掲)
		県立高校キャリア教育総合推進事業【高校教育指導課】	19,388

(6) 幼児教育の推進

		保育教諭確保のための幼稚園教諭免許状取得支援事業	
		【家庭地域連携課】	6,228
		幼少期教育充実事業【家庭地域連携課】	636

(7) 特別支援教育の推進

P11	一部新規	自立と社会参加を目指す特別支援学校就労支援総合推進事業	
		【特別支援教育課】	89,445
P12	一部新規	共生社会の形成に向けた特別支援教育推進事業	
		【特別支援教育課】	29,232
		自立と社会参加を目指す特別支援学校整備事業	
		【特別支援教育課】	17,600

2 豊かな心と健やかな体の育成

(1) 豊かな心を育む教育の推進

		自立心をはぐくみ絆を深める道徳教育推進事業【生徒指導課】	21,387
		自分発見！高校生感動体験プログラム事業【生徒指導課】	15,945

(2) いじめ・不登校・高校中途退学の防止

P5	一部新規	課題を抱える生徒の自立を支援する共助プラン	
		【高校教育指導課・生徒指導課】	72,715 (再掲)
P13		いじめ・不登校対策相談事業【生徒指導課】	779,605
		ネット問題対策教育推進事業【生徒指導課】	5,820
		自立心をはぐくみ絆を深める道徳教育推進事業【生徒指導課】	21,387 (再掲)
		自分発見！高校生感動体験プログラム事業【生徒指導課】	15,945 (再掲)
		いじめ・非行防止学校支援推進事業【生徒指導課】	18,366

(3) 生徒指導の充実

		いじめ・非行防止学校支援推進事業【生徒指導課】	18,366 (再掲)
--	--	-------------------------	-------------

(4) 人権を尊重した教育の推進

		人権感覚育成事業【人権教育課】	517
--	--	-----------------	-----

(5) 健康の保持・増進

		がんの教育総合支援事業【保健体育課】	1,201
--	--	--------------------	-------

(6) 体力の向上と学校体育活動の推進

P14 一部新規 運動部活動指導充実支援事業【保健体育課】 56,155

3 質の高い学校教育を推進するための環境の充実

(1) 教職員の資質能力の向上

P2 新規 近未来学校教育創造プロジェクト【高校教育指導課】 35,718 (再掲)
埼玉ティーチャーズカレッジ連携事業【小中学校人事課】 12,186

(2) 学校の組織運営の改善と魅力ある県立高校づくり

P15 一部新規 魅力ある県立学校づくり推進費【魅力ある高校づくり課】 67,895
P16 未来を拓く学校づくり推進事業【県立学校人事課】 2,557
学校経営改革推進事業【県立学校人事課】 2,381

(3) 子供たちの安心・安全の確保

県立学校非構造部材耐震対策事業【財務課】 111,140
県立学校食堂兼合宿所等耐震化事業【財務課】 1,556,479
高校生自転車交通事故防止対策事業【保健体育課】 3,308

(4) 学習環境の整備・充実

P17 新規 大学進学のための経済的支援制度を活用した高校生の進学支援事業
【財務課】 1,696
公立高等学校就学支援金事業【財務課】 12,429,196
埼玉県国公立高等学校等奨学のための給付金事業
【財務課】 1,696,243
P18 埼玉県高等学校等奨学金事業【財務課】 566,065
P19 新規 中学校夜間学級の設置促進事業【小中学校人事課】 500
教育環境整備基金積立金【財務課】 1,192
県立学校大規模改修費【財務課】 2,369,591

4 家庭・地域の教育力の向上

(1) 家庭教育支援体制の充実

P20 一部新規 家庭教育支援推進事業【家庭地域連携課】 3,413

(2) 地域の教育力の向上

放課後子供教室推進事業【家庭地域連携課】 247,327
学校応援団推進事業【家庭地域連携課】 16,135
P21 新規 生涯学習を担う未来人材育成プロジェクト【生涯学習文化財課】 1,870
元気な地域を創造する子ども大学推進事業【生涯学習文化財課】 2,071

(3) 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

彩の国教育の日推進事業【家庭地域連携課】 554

5 生涯にわたる学びの支援とスポーツの推進

(1) 学び合い共に支える社会を目指す生涯学習の推進

P21	新規	生涯学習を担う未来人材育成プロジェクト【生涯学習文化財課】	1,870 (再掲)
		県立図書館再編整備事業【生涯学習文化財課・財務課】	357,247
		元気な地域を創造する子ども大学推進事業【生涯学習文化財課】	2,071 (再掲)

(2) 文化芸術の振興と伝統文化の継承

P22	新規	文化遺産活用調査事業【生涯学習文化財課】	2,962
P23	新規	国指定天然記念物の魅力発信とジオパーク秩父の活用事業 【生涯学習文化財課】	17,849
		埼玉県芸術文化祭開催費【生涯学習文化財課】	5,610
		文化財保護事業補助【生涯学習文化財課】	114,167
		美術作品取得事業【生涯学習文化財課】	4,524

III 教職員の定数

P24

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
条例定数	47,399人	47,222人	177人

学力・学習状況調査実施事業

担当 義務教育指導課 学力調査担当
内線 6749

1 趣 旨

小・中学校における県独自の学力・学習状況調査を実施することで、児童生徒一人一人の学習内容の定着や学力の伸び、学習意欲等を把握する。

調査結果を活用し、市町村への支援の充実を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

2 事業内容

(1) 「埼玉県学力・学習状況調査」の実施

ア 平成28年度調査

(ア) 調査対象 ・ 小学校第4学年～中学校第3学年

(イ) 調査内容

①教科に関する調査

- ・ 小学校第4～第6学年：国語、算数
- ・ 中学校第1学年：国語、数学
- ・ 中学校第2, 3学年：国語、数学、英語
- ・ 学習に対する意識、生活の様子、
規律ある態度等

②質問紙調査

(ウ) 調査実施日

・ 平成28年4月14日（木）

(エ) 結果の公表

・ 県全体、市町村別の結果一覧を公表

イ 平成29年度調査

調査に向けての問題の作成・印刷等の準備を行う。

(2) 調査の特徴と効果

特 徴

- 児童生徒一人一人の「学習内容の定着状況」＋ 「学力の伸び」を把握
- 生活の状況や学習意欲など、子供の状況を多面的に把握

効 果

- 「学力の伸び」の把握
→ 学校・市町村の取組の成果を可視化、児童生徒の「学習意欲」の喚起
- 子供の状況を多面的に把握
→ 児童生徒一人一人に応じた指導の充実

3 平成28年度予算額

215,562千円

近未来学校教育創造プロジェクト

担当 高校教育指導課 未来を拓く学び推進担当
内線 6773

1 趣 旨

主体的・協働的に学ぶ学習（いわゆる「アクティブ・ラーニング」）におけるタブレット端末の活用方法や効果を検証するため、モデル校にタブレット端末を整備する。

また、手軽にアクティブ・ラーニングが実践できるよう、教材共有システムを構築し、教員同士の切磋琢磨による教材開発、優れた教材の共有・蓄積に取り組む。

2 事業内容

(1) タブレット端末を活用した授業実践

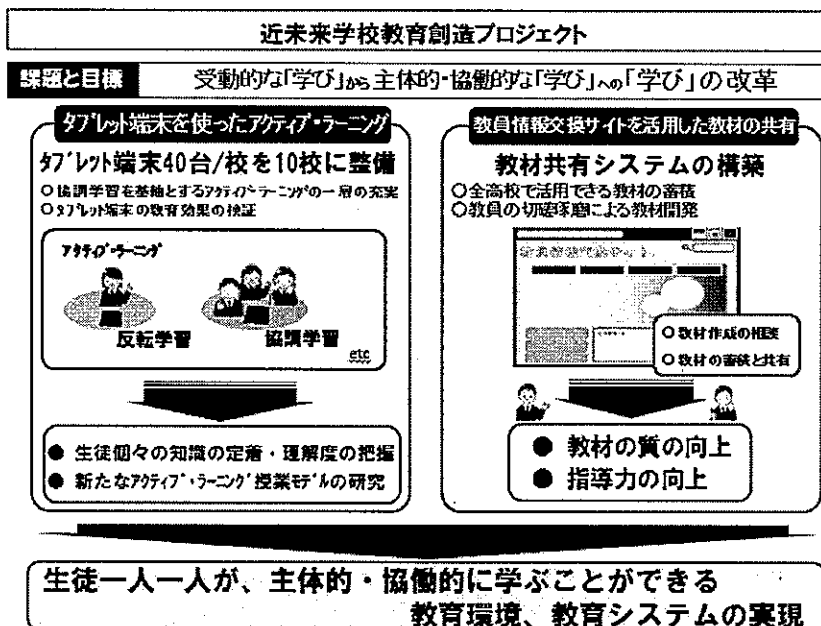
タブレット端末40台を県立学校10校に導入し、協調学習で活用することはもとより、反転学習等のアクティブ・ラーニングの教育的効果について幅広く検証を行う。

(2) 教員情報交換サイトを活用した教材の共有

協調学習や反転授業、その他多様な学習形態に対応できる教材、授業案を、教員が共同で開発し、データベースに蓄積したデジタル教材等を授業で効果的に活用する。

(3) 反転学習入門研修会

中・高等学校教員を対象とした研修会で、映像コンテンツ作成スキルや活用技術等を身に付け学習指導の幅を広げる。



3 平成28年度予算額 35,718千円

未来を拓く「学び」プロジェクト

担当 高校教育指導課 未来を拓く学び推進担当
内線 6625

1 趣 旨

主体的・協働的に学ぶ学習（いわゆる「アクティブ・ラーニング」）を推進するために、県として全国に先駆けて取り組んでいる「協調学習」による授業改善をさらに発展させる。

協調学習の効果を科学的根拠に基づき検証し、協調学習以外のアクティブ・ラーニングを研究することで、将来の埼玉県を担う、時代に応え未来を拓く人材を育成するとともに、全国をリードする課題解決モデルとして確立する。

2 事業内容

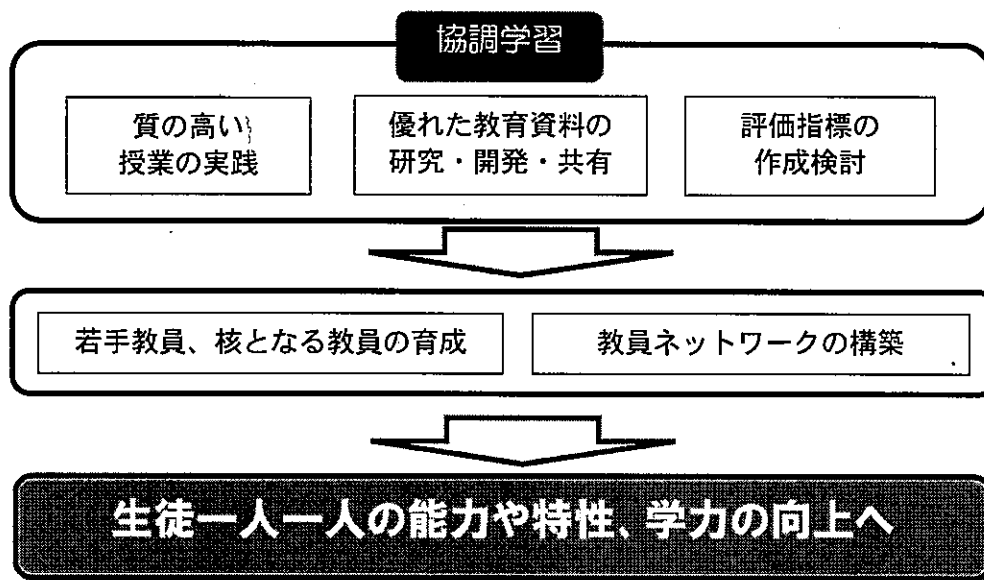
(1) 協調学習による授業改善

生徒が主体的に学ぶ意欲をはぐくむ授業案等の研究・開発を行うことにより、生徒一人一人の能力や特性、学力をさらに伸長させる。

(2) 授業改善を行うネットワークの構築

大学や研究機関、企業等の持つ知見を生かし、協調学習の効果検証や授業案の共同開発、情報共有を行う教員同士が学び合うネットワークを構築する。

時代に応え未来を拓く人材の育成



3 平成28年度予算額 5,860千円

骨太のリーダーを育成する高校生のための 埼玉版リベラルアーツ事業

担当 高校教育指導課

体験活動・キャリア教育推進担当

学力向上推進担当

内線 7391

1 趣 旨

学問のすそ野を広げ様々な角度から物事を見る力、自主的・総合的に考える確に判断する能力、豊かな人間性を養い、自分の知識や人生を社会との関係で位置づけることができる骨太で品格あるリーダーを育成する。

また、高大接続の在り方をはじめとする教育の大きな改革期の中で、生徒を支え導く学校・教員の体制を整える。

2 事業内容

(1) 知の基盤形成事業

豊かな体験を通して、思考力、判断力、表現力や主体性を持って多様な人々と協働する態度など「真の学力」を育成する。

ア 哲学や芸術・文化に関するセミナーの実施

イ 最先端スポーツ研究施設の訪問等スポーツ教養セミナーの実施

ウ 社会貢献セミナーの実施

エ 科学・産業等の先端研究施設の視察等

(2) 支え導く学校・教員体制整備事業

生徒に「真の学力」を身につけさせ高い志を維持させるために学校・教員の指導体制の整備・改善を進める。

ア 各校における生徒対象講演会や教員の授業力向上研修等の実施

イ 優れた授業や取組の共有等学校間の連携の強化

ウ 高大接続の在り方についての情報収集・共有や指導力向上研修会の実施等教育改革への対応

3 平成28年度予算額

2,628千円

課題を抱える生徒の自立を支援する共助プラン

担当 高校教育指導課

体験活動・キャリア教育推進担当

生徒指導課 非行・中退防止担当

内線 6772、6744

1 趣 旨

基礎学力に課題を抱えた高校生を対象として、大学生等を活用し、義務教育段階の学習内容の学び直しを進める。また、NPOや地域と学校が連携し、生徒一人一人の適性に応じた社会的・職業的自立に必要な力を育成する。

この事業により、生徒の基礎学力を定着させ、中途退学を防止するとともに、ニート・フリーターになることを防ぐ。

2 事業内容

(1) 学習支援

ア 学習サポーターの配置

全日制10校、定時制19校に配置し、特に中途退学者の多い高校1年生を対象に、国語、数学、英語の学び直しを徹底する。

イ ICTを活用した基礎学力の定着・学び直しの徹底

タブレット端末を活用し、義務教育段階の学び直しを進める。

(2) 自立支援

ア 外部の力を活用した中途退学防止

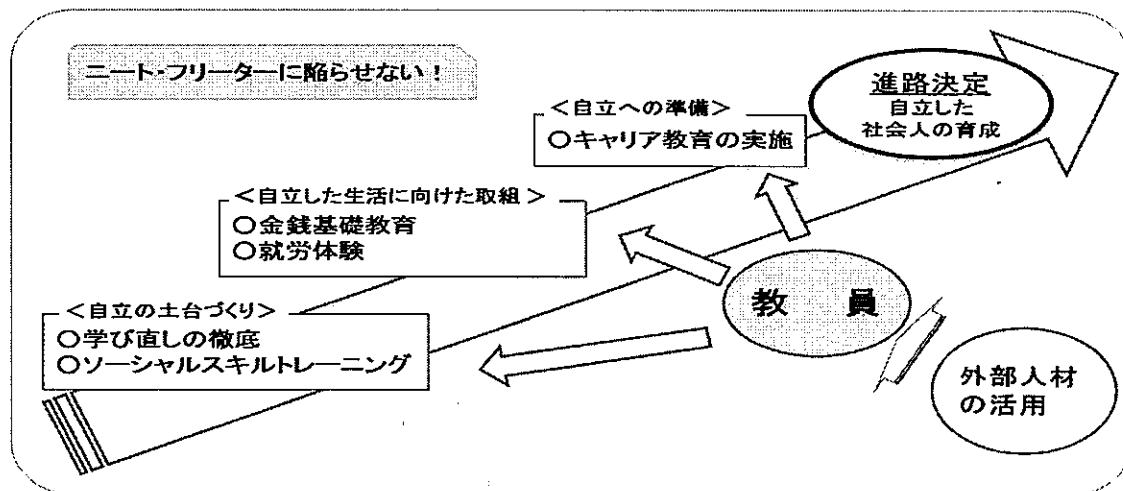
自立のための土台づくりである他者との良好な人間関係づくりを学ばせるため、地元企業等と連携した体験活動等を実施する。

イ 生徒を学校に導くための環境整備

不登校経験や家庭の経済的困窮など、生徒自身だけでは解決できない問題に対し、心理や福祉の専門家を全ての定時制高校に派遣できる体制を整備し、生徒の支援を行う。

- ・スクールカウンセラー（定時制10校を拠点）

- ・スクールソーシャルワーカー（定時制8校を拠点）



3 平成28年度予算額

72,715千円

埼玉県学力・学習状況調査のデータ活用事業

担当 義務教育指導課 学力向上推進担当
内線 6779

1 趣 旨

埼玉県学力・学習状況調査のデータを活用し、指導と学力の関係等を研究機関に委託して分析することにより、学力向上に効果的な指導方法を明らかにし、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

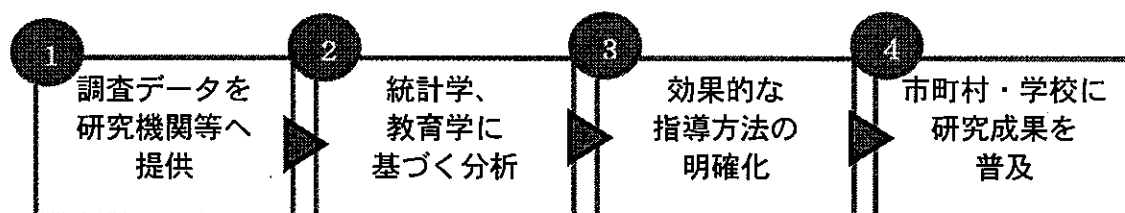
2 事業内容

(1) 研究機関への委託

埼玉県学力・学習状況調査のデータを外部研究機関に提供し、統計学や教育学に基づく分析を行う。分析により明らかになった効果的な指導方法を普及し、指導改善を図る。

(2) データ活用のためのルールづくり

埼玉県学力・学習状況調査のデータを大学や研究機関が利用可能とするため、有識者で構成する委員会を設置し、提供するためのルールづくり等を行う。



特 徴

科学的な根拠に基づく効果的な指導方法を明らかにすることにより、児童生徒の学力向上を図る。

3 平成28年度予算額 9,500千円

一人一人に目を向けたアドバンスド事業

担当 義務教育指導課 学力向上推進担当
内線 6779

1 趣 旨

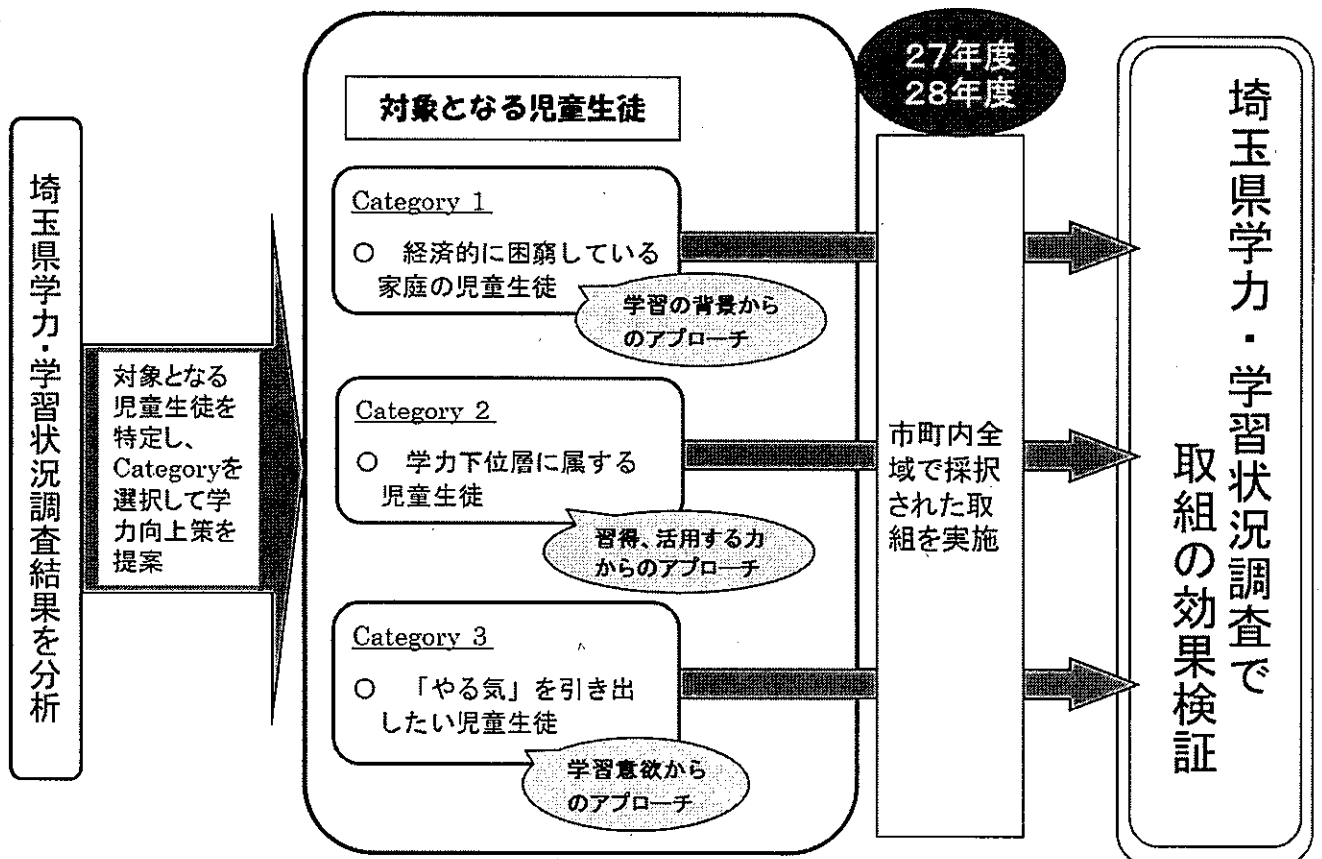
児童生徒一人一人の学力を向上させるため、埼玉県学力・学習状況調査の結果を活用し、児童生徒の状況に応じた市町村提案型の学力向上策を展開する。

市町村の取組の成果を県内に普及することで、県内の学力向上につなげる。

2 事業内容

平成27年度に採択された6市町において、課題解決に向けた取組を継続するとともに、平成28年度埼玉県学力・学習状況調査で取組の中間検証を行う。県は、6市町の取組が改善できるよう必要に応じて支援する。

取組の成果は、ホームページでの公開、各種会議での発信、協議会等での題材として活用するなどして普及を図る。



3 平成28年度予算額 3,200千円

国際バカロレアに関する調査・研究事業

担当 高校教育指導課 学力向上推進担当
内線 7391

1 趣 旨

海外大学の入学資格として幅広く活用されている国際バカロレアプログラムの教育理念や手法は、国際的にも評価されていることから、県立高校への導入が可能かどうかの検討をする上での指針とするべく、調査・研究を行う。

2 事業内容

(1) 国際バカロレア先進校等の視察

平成27年度に日本語DP（ディプロマプログラム）を認定された国内先進校等を訪問し、授業視察やカリキュラムに関する調査等を行い、カリキュラム実施上の課題、人的、財政的課題について研究を行う。

(2) プログラムに関する研究

ア 国際バカロレアのワークショップに職員等を派遣し、プログラムの内容や指導方法、教員養成等について研究を行う。

イ 国際バカロレアの教科ガイドブックや教科書を研究し、カリキュラム実施上の課題について研究を行う。

(3) 県内におけるニーズ調査

県内の中学生・高校生及びその保護者を対象に、グローバル人材育成の必要性、海外大学への進学に関する関心、国際バカロレアの認知度やニーズについて調査を行う。

3 平成28年度予算額 1,374千円

県立高校プロフェッショナル育成推進事業

担当 高校教育指導課 産業教育担当
内線 6769

1 趣 旨

専門高校等において企業等の支援を受けながら、職業教育の充実を図り、将来の地域産業を担う専門的職業人の育成を図る。

2 事業内容

- (1) 埼玉からアジアへの扉を開く！実践的職業教育グローバル事業
 - ア 専門高校生の海外派遣及び海外の生徒との連携による商品開発
 - イ 県内における商品開発
専門高校の学校・学科の枠を超えたチームにより新商品を開発する。
 - ウ 国内における基盤講座分野
農業、工業、商業、家庭、看護、福祉の各専門分野において基盤講座を実施し、基礎的・基本的な知識、技術及び技能の習得を図る。
- (2) 職業教育推進事業
専門高校と企業等との連携による産業教育フェアの開催、高校生に対する専門資格の取得奨励、秀でた技術・技能を持った専門家による授業、大学や研究機関の研究者等による科学授業を実施する。
- (3) 再生可能エネルギー普及のための高校生地域貢献事業
木質バイオマスエネルギー活用設備を利用し、生徒の力を生かした地域貢献等により、再生可能エネルギーの普及に取り組む。
- (4) スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）事業
高度な知識・技能を身に付けた専門的職業人を育成するためのカリキュラム研究や大学・研究機関等との効果的な連携の実践研究に取り組む。



3 平成28年度予算額 4,641,700円

明日の産業を担う専門高校人材育成事業

担当 高校教育指導課 産業教育担当
内線 6769

1 趣 旨

産業構造の変化と科学技術の急速な進歩に対応できる高度な職業人材を育成するために、必要な教育の在り方を調査・研究する。

2 事業内容

- ・ スーパーキャリアハイスクールに関する調査・研究
教科別ワーキンググループを編成し、各教科で教育内容についての現状と課題、望ましい学科の在り方について調査・研究を行う。
 - ア 調査内容の例
 - ・ 県外における先進的な教育を実施している学校等への視察
 - ・ 県内の先端産業や先進企業等への視察
 - イ 研究内容の例
 - ・ 埼玉の先端産業や県の特徴、強みを活かした新たな学習内容の研究
 - ・ 新たな大学進学や先端技術に対応するための教育課程の研究
 - ・ 専門高校生のリーダー育成、グローバル人材の育成に関する研究
 - ・ 他学科と連携した横断的な教育内容の研究

3 平成28年度予算額 2,000千円

自立と社会参加を目指す特別支援学校就労支援総合推進事業

担当 特別支援教育課
特別支援学校就労支援担当
内線 6891

1 趣 旨

障害のある生徒の自立と社会参加を実現するため、特別支援学校高等部生徒の就労支援を総合的に推進する。

2 事業内容

- (1) 障害者雇用の仕組の構築
特別支援学校の一般就労率の向上を図るため、教育委員会が特別支援学校の卒業生を雇用し、一般就労及び障害者雇用の促進に向けた仕組みづくりを実施する。
- (2) 企業のニーズを踏まえた職業教育の推進
就労状況の変化に対応し、企業のニーズを踏まえた職業教育を推進する。
 - ア 3D（3日間）意識向上民間研修を実施
 - イ 特例子会社幹部等を就職支援アドバイザーとして配置
 - ウ 卒業生による講演会の開催
- (3) 就労可能な企業の情報の収集
関係機関との連携により、生徒の実習及び就労可能な企業の情報を収集する。
 - ア ハローワーク等との共同職場開拓
 - イ 企業情報の収集
- (4) 企業に向けての理解啓発
企業向けの学校公開を実施し、企業の理解啓発を図る。
- (5) 自閉症に特化した就労支援の研究
自閉症の特性を踏まえた教育課程の在り方や就労に向けた支援の在り方についてモデル研究を実施する。

3 平成28年度予算額 89,445千円

共生社会の形成に向けた特別支援教育推進事業

担当 特別支援教育課

インクルーシブ教育施策担当

内線 6889

1 趣 旨

共生社会の形成に向けて、障害のある子供とない子供が共に学ぶことを追求するとともに、一人一人の教育的ニーズに応じた多様な学びの場などの学習環境の整備・推進を図る。

2 事業内容

(1) 発達障害支援の充実

発達障害のある児童生徒一人一人のニーズに応じた支援の充実を図るため、小・中・高の学校間連携による一貫した支援体制の構築に向けたモデル研究を実施する。

(2) 小中学校における支援体制の整備

特別支援学級等担当者への巡回指導を実施し、特別支援学級を核にした各学校における支援体制づくりを推進する。

(3) 高等学校における支援体制の整備

臨床心理士等の専門家を活用した巡回支援を実施し、各学校における組織的な支援体制づくりを推進する。

(4) 特別支援学校における支援体制の整備

小・中・高と特別支援学校による連携会議を開催し、特別支援学校のセンター的機能の強化・充実を図る。

(5) 人材育成・指導力の向上、連携支援の充実

階層別研修の実施、関係機関との連携協議会の開催

3 平成28年度予算額 29,232千円

いじめ・不登校対策相談事業

担当 生徒指導課

総務・登校支援・心の教育担当

内線 6745

1 趣 旨

いじめ防止対策推進法、子どもの貧困対策の推進に関する法律の趣旨を踏まえ、心理や福祉の専門家であるスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等による教育相談体制を整備する。

また、県立学校におけるいじめによる重大事態に対し調査審議を行うほか、いじめ・非行防止支援員を配置し、各学校に指導・助言を行う。

2 事業内容

(1) 重大事態に関する調査

県立学校におけるいじめによる重大事態に対し、弁護士等の第三者の専門家がいじめの事実関係を調査審議する。

(2) いじめ・非行防止支援員の配置

県教育委員会にいじめ・非行防止支援員を配置し、各学校のいじめ問題等への対処に関して指導・助言を行う。

(3) 教育相談体制の充実

ア スクールカウンセラーの配置

・全公立中学校、各教育事務所に配置

イ スクールソーシャルワーカーの配置

・市町村教育委員会、各教育事務所に配置

ウ 高校相談員の配置

エ 精神科医の配置

オ スチューデントサポーターの派遣

カ いじめメール相談の実施

キ 中学校相談員配置市町村への助成

ク 相談員の研修

3 平成28年度予算額

779,605千円

運動部活動指導充実支援事業

担当 保健体育課 学校体育担当
内線 6947

1 趣 旨

県内中・高等学校の運動部に対し、外部指導者や部活動支援員の派遣、全国・関東大会等への派遣費補助等を行い、運動部活動の充実・活性化とともに、教員の負担軽減を図る。

2 事業内容

(1) 運動部活動外部指導者活用事業

高等学校に対し、地域の専門的指導力を備えた80名の外部指導者を派遣し、運動部活動の維持・充実を図る。

(2) 運動部活動指導者研修事業

運動部活動指導者講習会及び登山指導者講習会を実施し、講義及び実技指導を通して、効果的な部活動の在り方や事故防止、体罰防止等について周知する。

(3) 中学校スポーツエキスパート活用事業

中学校運動部への外部指導者派遣を行う市町村に補助金を交付し、部活動の活性化を図る。

(4) 中・高・特体育連盟関連経費

本県で開催される全国・関東大会へ開催費の補助を行う。

(5) 全国・関東大会（中・高・特体連）への派遣費補助

全国・関東大会へ出場する中・高・特別支援学校生に対して、派遣費の補助を行い、大会出場に係わる経費負担を軽減する。

(6) 【新規】運動部活動支援員活用事業

単独での指導や大会への引率が可能な「運動部活動支援員」を配置することにより、運動部活動の活性化や教員の負担軽減を図る市町村に対し、補助金を交付し取組を支援する。



■ 部活動の活性化を図るため、「部活動支援員」を希望する市町村教育委員会へ配置する。

- 1 中学校部活動支援員活用事業
市町村に必要経費の2/3を補助
- 2 部活動支援員講習会を開催
部活動支援員を一堂に会し、指導上の留意点や指導計画の立案、体罰防止等について研修

3 平成28年度予算額 56,155千円

魅力ある県立学校づくり推進費

担当 魅力ある高校づくり課
内線 6902

1 趣 旨

社会状況の変化や、生徒・保護者のニーズに対応した特色ある学校づくりを進め、県立学校の魅力を更に高めるための取組を推進する。

2 事業内容

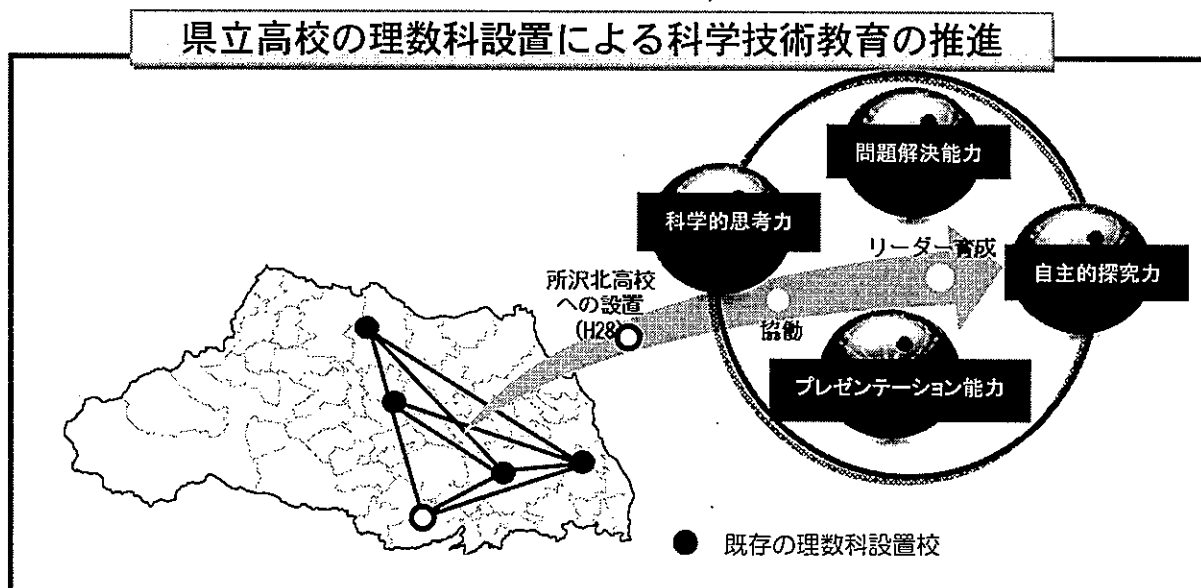
(1) 魅力ある県立学校づくり推進費

県立学校の活性化・特色化を推進するため、各学校の取組を促すとともに、社会のニーズに対応した教育環境の整備についての検討などを行う。

(2) 科学技術教育推進費

より専門的な理科・数学教育を受けられる基盤を全県的に確立するため、所沢北高等学校（県西南部地域）に理数科を開設する。平成28年度は、校舎改修や物品の整備などを行う。

併せて理数科設置校5校での連携や大学などの研究機関等との連携を強化し、科学技術を担う人材の輩出を目指す。



3 平成28年度予算額

67,895千円

未来を拓く学校づくり推進事業

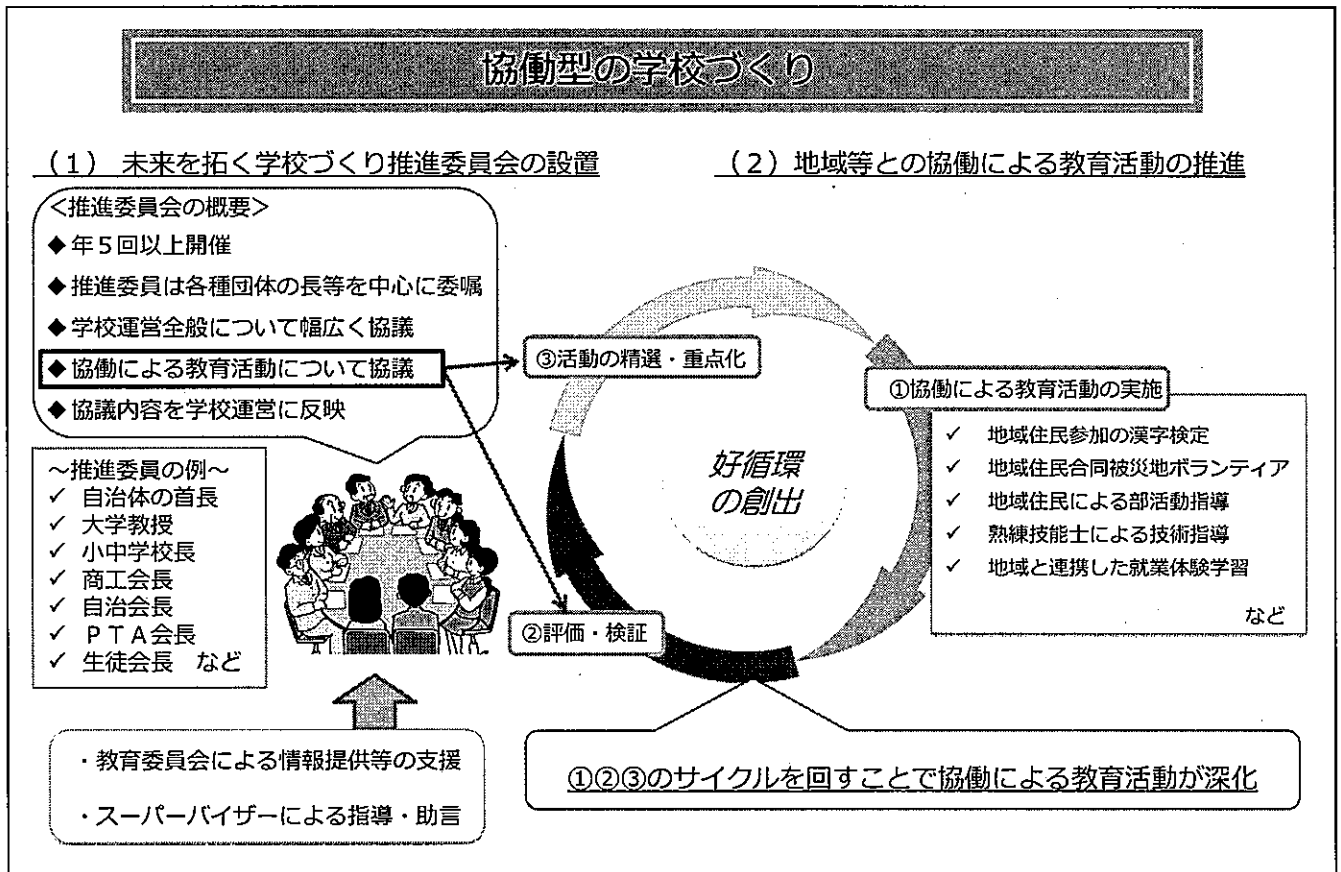
担当 県立学校人事課 学校・人事評価担当
内線 6712

1 趣 旨

地域の期待に応える学校運営と、地域の資源を生かした教育活動の実現を図るため、県立学校3校を研究推進校として指定し、学校と保護者・地域住民などの共助体制による新しい協働型の学校づくりを推進する。

2 事業内容

- (1) 保護者・地域住民などが学校運営に参画する新たな仕組みの構築
未来を拓く学校づくり推進委員会を設置し、保護者・地域住民などの参画による協働型の学校運営を推進する。
- (2) 保護者・地域住民などとの協働による教育活動の推進
未来を拓く学校づくり推進委員会での協議を踏まえ、地域の資源・教育力などを生かした学校支援及び学校を核にした地域づくりを推進する。



3 平成28年度予算額

2,557千円

大学進学のための経済的支援制度を活用した高校生の進学支援事業

担当 財務課 授業料・奨学金担当
内線 6652

1 趣 旨

高校生に対し、奨学金などの経済的支援情報の提供やきめ細かな進路指導を行い、家計が厳しくても意欲や能力のある高校生の大学進学を支援する。

2 事業内容

- (1) 進路選択等に関する状況調査を踏まえた進路指導の実施
- (2) 進路指導を行う教員のための相談窓口の設置
- (3) 資料集やホームページ等による経済的支援情報の提供



3 平成28年度予算額

1,696千円

埼玉県高等学校等奨学金事業

担当 財務課 授業料・奨学金担当
内線 6652

1 趣 旨

経済的理由により修学が困難な高校生等に対して奨学金を貸与することにより、修学を支援するとともに、有為な人材の育成に資する。

2 事業内容

(1) 奨学金制度の概要

ア 奨学金貸与の対象者

修学意欲があり、かつ、経済的理由により修学が困難な生徒

イ 貸与額

・国公立	入学一時金	100,000円以内
	月額奨学金	25,000円以内
・私立	入学一時金	250,000円以内
	月額奨学金	40,000円以内

ウ 貸与枠

平成28年度在校生向け	5,700人
平成29年度入学生向け	1,800人

(2) 本県奨学金制度の主な特徴

ア 無利子貸与の実施

イ 新入生への入学前貸与の実施

ウ 金融機関と連携した貸与や債権管理の実施

3 平成28年度予算額 566,065千円

中学校夜間学級の設置促進事業

担当 小中学校人事課 人事・学事担当
内線 6939

1 趣 旨

中学校夜間学級の設置に当たっての課題やその解消策の整理などを行うため、調査・研究を実施する。

2 事業内容

(1) 中学校夜間学級設置検討会議

中学校夜間学級の設置に関する課題を協議し、整理する。(年3回)

(2) 県内市町村との連絡協議会

中学校夜間学級について、県内市町村の担当者と課題を協議し、その解消策について検討する。(年3回)

(3) 先進自治体への視察

中学校夜間学級を既に設置している先進自治体を視察し、調査研究を行う。(年3回)

3 平成28年度予算額 500千円

家庭教育支援推進事業

担当 家庭地域連携課

幼児教育・家庭教育支援担当

内線 6972

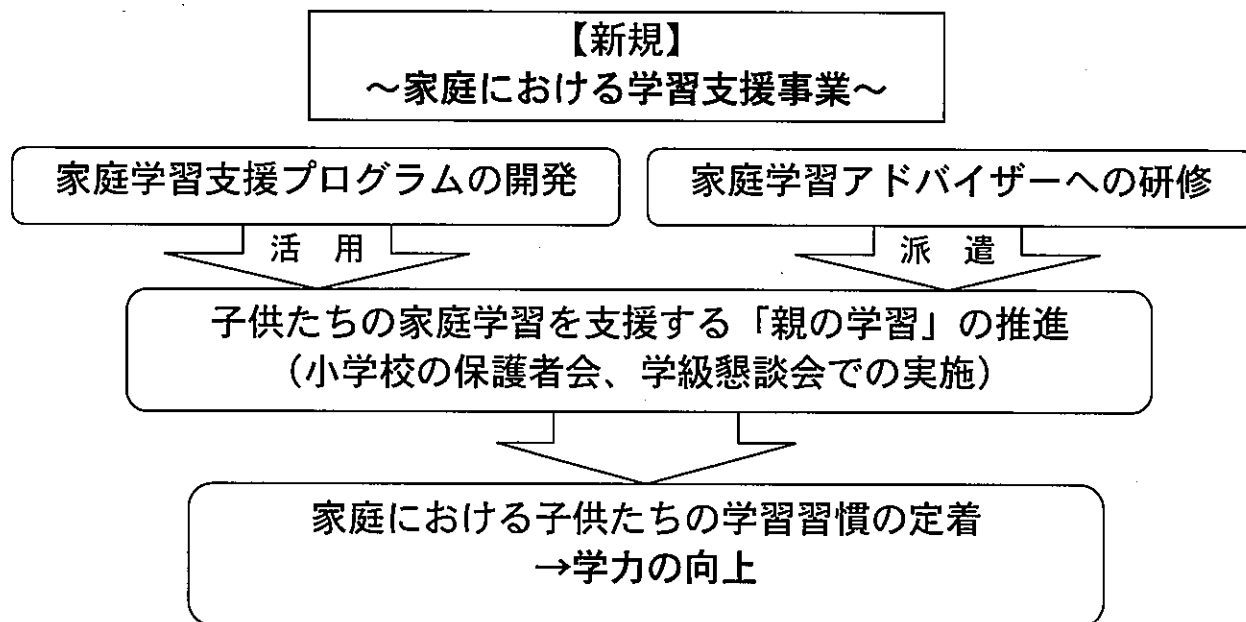
1 趣 旨

家庭の教育力の向上を図るため、中学生や高校生を対象とした「親になるための学習」及び、親を対象とした「親が親として育ち力をつけるための学習」を推進するとともに、子育てに関する不安や悩みを持つ親への支援を行う。

さらに、家庭における子供たちの学習習慣を促進するため、保護者向けの家庭学習支援プログラムを新たに開発するなど、家庭と連携して子供たちの学力の向上を図る。

2 事業内容

- (1) 埼玉県家庭教育アドバイザー養成事業
 - ・埼玉県家庭教育アドバイザー養成のための研修の実施
 - ・埼玉県家庭教育アドバイザーの指導力向上のための研修の実施
- (2) 埼玉県家庭教育アドバイザー派遣事業
 - ・各学校、保育所、公民館等の「親の学習」講座等の指導者として、埼玉県家庭教育アドバイザーを派遣
- (3) 【新規】家庭における学習支援事業
 - ・子供たちの家庭学習を支援する保護者向け家庭学習支援プログラムを新たに開発し、モデル地区の指導者となる家庭学習アドバイザーへの研修を実施



3 平成28年度予算額

3,413千円

生涯学習を担う未来人材育成プロジェクト

担当 生涯学習文化財課 生涯学習推進担当
内線 6914

1 趣 旨

組織と内容を充実させた子ども大学のモデル事業への支援を行い、広めていくことにより、各地域で生涯学習を担う人材を育成する。

2 事業内容

(1) 子ども大学実行委員会でモデル事業を実施

ア 広域化モデル事業

・複数の子ども大学がまとまることで、市町村の枠組みを超え、広域的に連携した子ども大学を実施する。

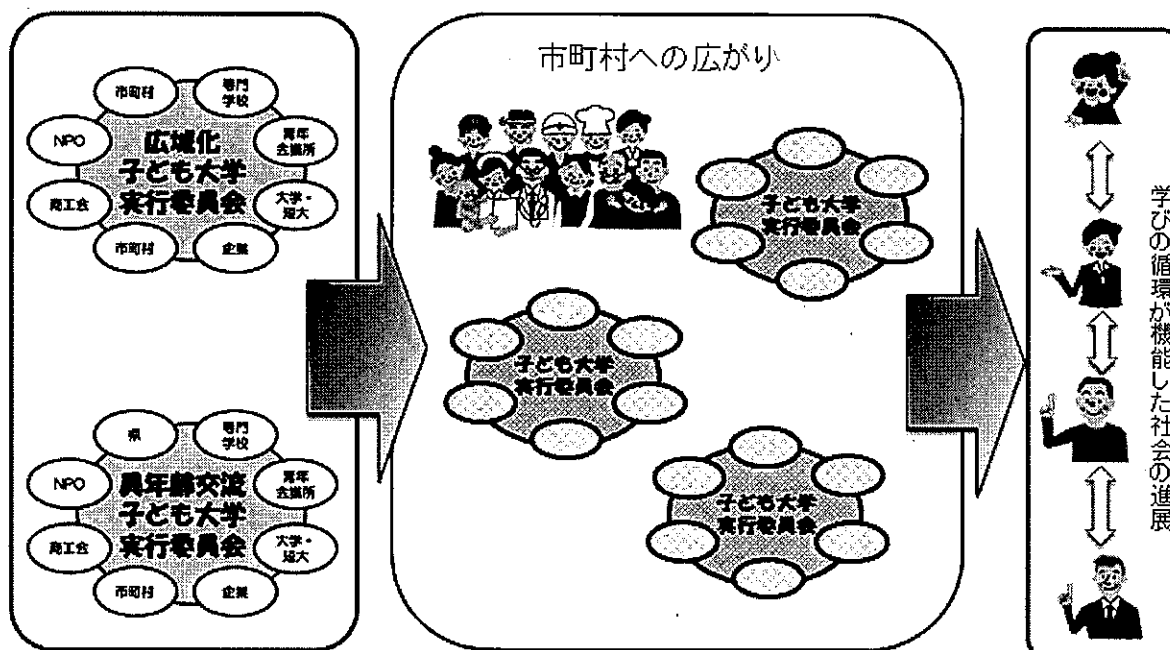
イ 異年齢交流モデル事業

・対象年齢を広げ、異年齢交流を図る子ども大学を実施する。

(2) モデル事業の成果を周知

ア モデル事業成果発表会の開催

イ 実践報告集の作成・配布



3 平成28年度予算額

1,870千円

文化遺産活用調査事業

担当 生涯学習文化財課 指定文化財保護担当
内線 6987

1 趣 旨

埼玉の歴史文化を再発見し、埼玉の魅力を世界に発信するため、潜在している歴史文化遺産を新たに掘り起こす学術調査を実施する。

2 事業内容

(1) 無形民俗文化財調査

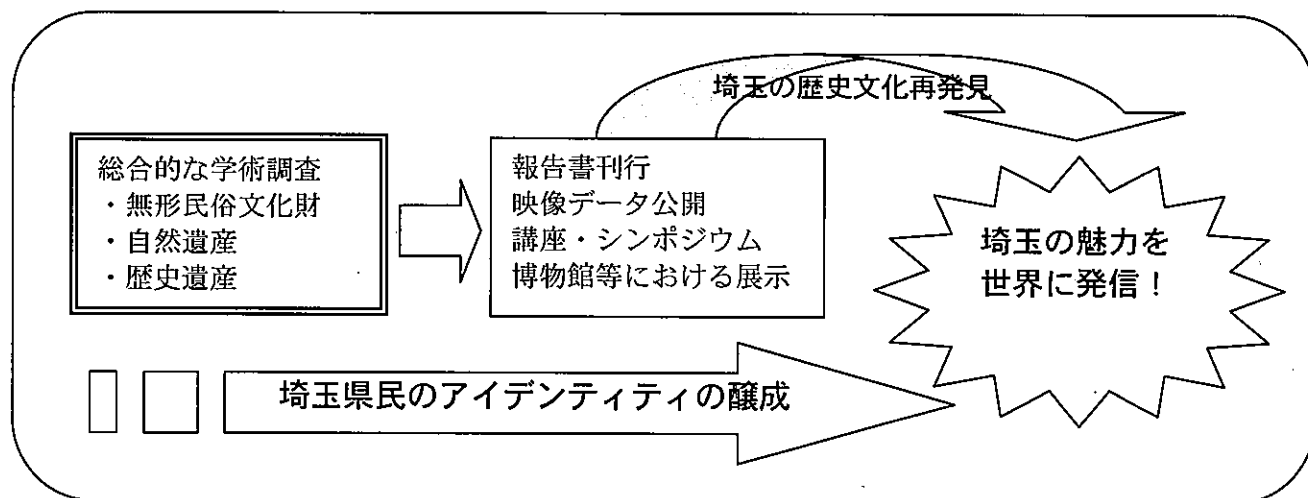
県内の無形民俗文化財のうち、神仏が町や村を廻ることを中心とする行事（都市祭礼、お獅子様、廻り地蔵など）についての総合調査を行う。

(2) 自然遺産調査

秩父地域を中心に、鍾乳洞や洞穴が広く分布する石灰岩地について、地質や植物、動物などの分野から総合調査を行う。

(3) 歴史遺産調査

幕末に編纂された『新編武蔵風土記稿』に記載されている文化財について、歴史・民俗・美術・考古の分野から調査を行い、地域に眠っている文化遺産の再認識・再評価を行う。



3 平成28年度予算額 2,962千円

国指定天然記念物の魅力発信とジオパーク秩父の活用事業

担当 生涯学習文化財課 文化財活用・博物館担当
内線 6986

1 趣 旨

哺乳類化石として全国初、国の天然記念物に指定予定であるパレオパラドキシアの化石をはじめ、埼玉県の有する重要な文化財の魅力を県内外・世界に発信し、後世まで継承していくため、国指定天然記念物コーナー等を設置する。

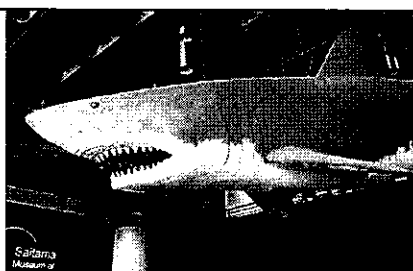
2 事業内容

- (1) 天然記念物に関する新コーナーの設置
実物化石等を展示し、その魅力をアピール
- (2) ギネス申請
「カルカロドン メガロドン」（絶滅した大型のサメ）について、復元模型の大きさと歯の化石数をギネス記録として申請し、広報力を強化
- (3) 記念グッズ製作・販売
天然記念物に関する記念グッズの製作・販売
- (4) おもてなしのための駐車場設置
大型バスの利用可能な駐車場を整備

2(1) 新コーナーのイメージ



2(2) ギネス申請する「カルカロドン メガロドン」



3 平成28年度予算額

17,849千円

教育局条例定数一覧

(単位:人)

区分	平成28年度	平成27年度	増 減	主な増減理由
事務局	726	726	0	
小学校	20,500	20,514	△14	児童数の変動に伴う減
中学校	12,149	12,114	35	国の教職員定数の改善に伴う増
高等学校	9,659	9,653	6	理数科設置等に伴う増
特別支援 学校	4,365	4,215	150	児童生徒数の変動に伴う増
計	47,399	47,222	177	